六 甲 山（紅葉谷コース）

［※ 実施日－－2024年12月10日(火)］

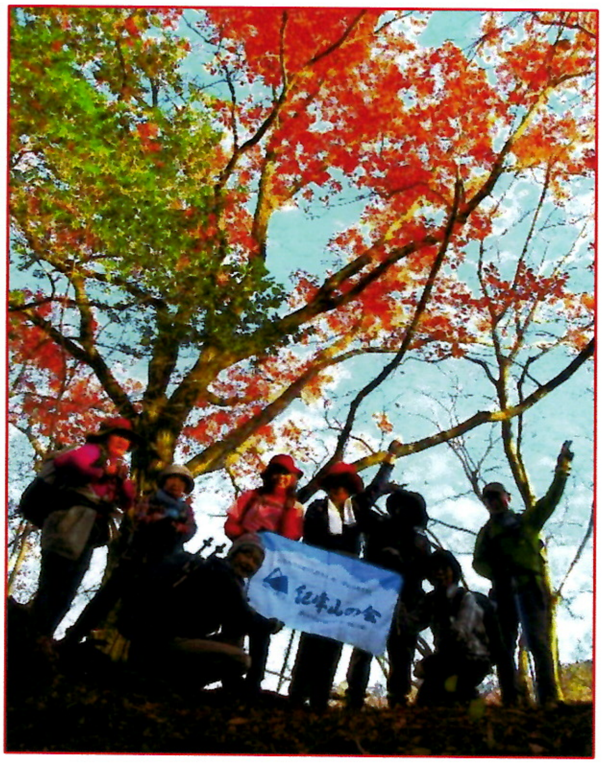
※弥生班　計　9名

（ハイライトシーン）

①（鼓ケ滝）

②（紅葉谷コース）

③（紅葉）



④（巨岩めぐり－－仰臥岩）

⑤（巨岩めぐり－－雲ケ岩）

⑥（巨岩めぐり－－六甲比命大善神）

⑦（巨岩めぐり－－心経岩）

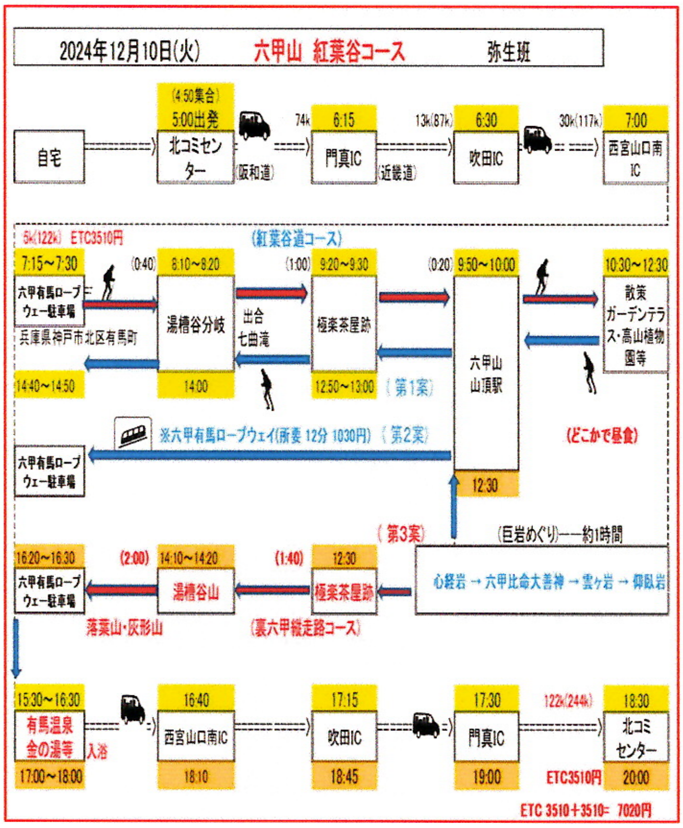
⑧（六甲山頂テラス）

⑨（極楽茶屋跡）
（紅葉谷コースと裏六甲縦走路コースの分岐点）

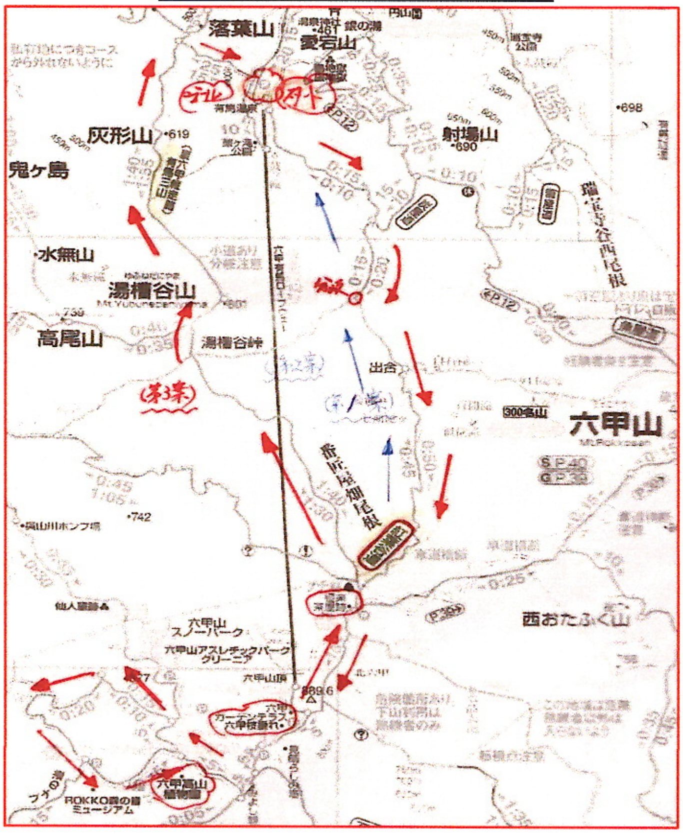
六　甲　山（紅葉谷コース）

※(山行日) ---- ２０２４年１２月１０日(火)

※(行　程)［予定］



（砥峰高原のロードマップ）



紀 峰 山 の 会 （弥生班）

(メンバー) ---------------計　９名

木村、中濱、岡本、山本、八木、大野、
大森、有本、大塚(会員外)

※[はじめに]

(六甲山-紅葉谷コース)

○裏六甲(六甲山北側)の有馬ロープウェイ駅の横から、有馬川の上流(滝川)の紅葉谷に沿って、稜線の極楽茶屋跡まで登るルート

(有馬三山)

○有馬温泉の西から南に峰を連ねる落葉山（おちばやま）、灰形山（はいがたやま）、湯槽谷山（ゆぶねだにやま）の総称で、裏六甲縦走路コースとも呼ばれている。

(六甲山の「六甲比命大善神社」と周辺の巨石群)

○六甲山頂尾根付近に位置し、仰臥岩、雲ケ岩、心経岩の中間地点に位置する壮大な磐座が御神体で、7 世紀にインドから渡来した法道仙人が創建した吉祥院多聞寺（神戸市北区唐櫃）の奥の院となっている。

※[計画の目的]

・紅葉の六甲山と巨石めぎりで有馬温泉の風情を楽しむ

(写真 1)　　　(準備体操)

・今回は９名参加(会員外１名含む)。車２台で北コミセンターを５時出発し、六甲有馬ロープウェイ駐車場に７時３０分到着。
・まずは、紅葉の山をバックに、準備体操。(和歌山弁のラジオ体操で実施)

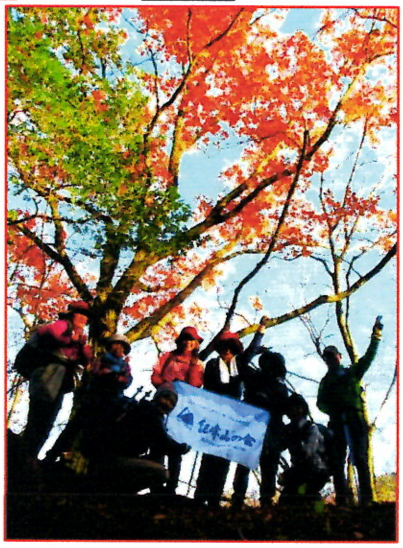
（写真 2）　（鼓ケ滝）

・駐車場の下に公園があり、そこには鼓ケ滝がある。豪快に流れ落ちる滝の音が、岩と滝の間にある空洞にこだまして鼓の音のように聴こえることからこの名がついたとの案内板があった。

（写真 3）　（紅葉谷コース）

・季節柄、落ち葉で滑りやすいが、整備された山道が続く。

（写真 4）　（紅葉）



・紅葉と青空のコントラストが印象的！

（写真 5）　（山頂の広場）

・山頂広場のスノーパークを横切り、巨岩めぐりへ------。

（写真 6）　（巨岩めぐり--仰臥岩）

（写真 7）　（巨石めぐり-雲ケ岩）

(写真８)　　（巨石めぐり–六甲比命大善神）

(写真９)　　（巨石めぐり–心経岩）

(写真 10)　　（六甲山頂テラス）

(写真 11)　　（テラスで昼食）

(写真 12)　　（山頂広場）

(写真 13)　　（極楽茶屋跡）

・右側は往路の紅葉谷コース
　左側は復路の裏六甲縦走路コース

(写真 14)　　(湯槽谷山)

(写真 15)　　(灰形山)

(写真 16)　　(有馬温泉–温泉寺)

(写真 17)　　(有馬温泉街)

・入浴後、少し有馬温泉街を散策しました。

※[最後に]

○参加者９名(会員外１名含む)、車２台で北コミセンターを５時出発。六甲有馬ロープウェイ駐車場へ７時３０分に到着。

○天気に恵まれ、出発時点では予定していなかった鼓ケ滝を見学し、紅葉谷コースの深い谷筋では紅葉鑑賞ができ、青空とのコントラストが印象的であった。

○山頂の巨石めぐり(仰臥岩→　雲ヶ岩　→六甲比命大善神→心経岩) では、幻想的な雰囲気が感じられた。

○巨石めぐりの途中で昼食を計画していたが適当な場所がなく、場所選定に長びき昼食が遅くなってしまった。

○昼食後体力に応じて２班に別れ、１班(５名)は復路を裏六甲縦走路コースで、湯槽谷山から灰形山、落葉山分岐を通過し下山、
２班(４名)は、ロープウェイで下山する。

○有馬温泉では、当初は金の湯を予定していたが休館日であったため、銀の湯に入浴し旅の疲れを癒しました。

○六甲山の紅葉と幻想的な巨石めぐり、そして温泉入浴の楽しい山行でした。